

表紙のことは

7月11日から13日まで、上山梨地区で「山梨祇園祭り」が行われ、屋台を勇壮に練り回しました。

11日には、山名神社から御旅所(八幡神社)まで渡御が行われ、猿田彦が沿道の皆さんの頭を南天の棒でコツンとたたいていきました。この棒でたたかれると1年間、病気にならないといわれています。

また、かき氷やクレープ、お面などたくさんのお店が連なり、多くの親子連れでにぎわっていました。

市民の動き

人口/86,700人 (前月比+173人)

(外国人登録者4,099人含む)

男性/43,754人 (前月比+93人)

女性/42,946人 (前月比+80人)

世帯数/30,546世帯 (前月比+70世帯)

平成20年7月1日現在

広報

ふくろい



2008年(平成20年)8月1日発行 第81号

編集・発行/
袋井市役所総務部秘書広報課広報広聴係
〒437-8666

静岡県袋井市新屋一丁目1番地の1
TEL 0538-432111 (代表)

【ホームページ】

<http://www.city.fukuroi.shizuoka.jp/>

【携帯サイト】

<http://www.city.fukuroi.shizuoka.jp/i/>

【Eメール】

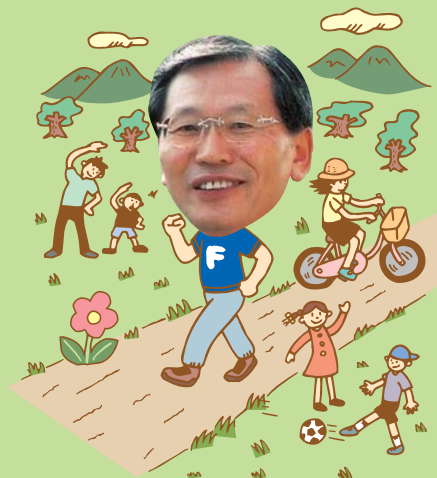
hisyo@city.fukuroi.shizuoka.jp

R100 古紙配合率100%再生紙を使用しています

原田市長の

さんぽみち

散歩道



姉妹都市提携20周年を記念して、7月3日から一週間、アメリカのヒルズボロ市を訪問した。訪問団は、市民の皆さんをはじめ、国際交流協会の皆さん、市議会議員など40人で構成された。

近年、ヒルズボロ市は、企業の立地が盛んで人口も増えているが、以前は農業が基盤であったことなど、袋井市とまちの成り立ちが似ていて強い親しみを感じた。初日の歓迎会も20年間の相互訪問の積み重ねのお陰で、和気あいあいの雰囲気が始まり、今までのホームステイで受け入れた家族との旧交を温めた人たちもいた。2日目の独立記念日のパレードでは、袋井市長として紹介された後、大きな消防車の上から、トム・ヒュースヒルズボロ市長と隣り合っ

「ヒルズボロ市を訪問して」

手を振って市内を一周した。企業関係者との懇談会は、ヒルズボロ市では、「インターネット」や「エブソン」などの工場長や商工会議所専務理事との間で開かれ、サンフランシスコでは、「ジェットロセンター」の所長や担当部長と行った。シリコンバレーやポスト

近郊などで優秀な大学を中心に誕生し、発展したIT企業が、今は勤務する人たちが「住み良い」と感じる所を求めて進出する傾向が強いことを知り、今後の袋井市の進む方向の一つの参考になった。

国際交流では、言葉がネックと

なりがちであるが、音楽やスポーツの分野では、そのまま相手と分かり合える。今回オカリナを演奏する皆さんが見事にそれを見せてくれた。

老人ホームでは、アメリカ国歌の演奏を始めたたん、全員が立ち上がって静かに聴き、演奏が終わるとすごい拍手が起こった。歓迎会では、あらかじめ練習しておいた数々の曲を披露し、会場内全員の手拍子も加わって、大変盛り上がった。土・日曜日に行ったヨセミテ国立公園では、大自然の中を流れるオカリナの音色に周りの観光客も喜んでくれた。

11月には、ヒルズボロ市から訪問団が来る予定なので、市民皆さんで歓迎していただきたいと思っている。